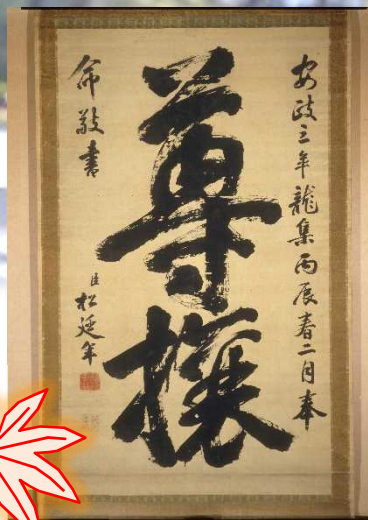


※各イベントの参加費は無料ですが、別途観覧料が必要となります。

10月1日(火)・2日(水)

藤田東湖書「麗澤」^{れいたく} 特別公開

ミニパネル展：「藤田東湖と芳野金陵」及び「麗澤」の修復について
〈展示解説〉各日13：30～(約40分) 場所：弘道館正庁



10月24日(木)～26日(土)

弘道館所蔵書籍の曝書^{ばくしょ}・

20年ぶりの特別公開！「尊攘」^{そんじょう}真筆特別公開
〈展示解説〉各日13：30～(約40分)
場所：弘道館至善堂

11月1日(金)

孔子廟^{こうしびょう}及び釈奠^{せきてん}関係資料特別公開

〈孔子廟公開〉10：00～16：00
〈解説〉10：30～(約40分) 場所：弘道館孔子廟

※各イベントの詳細は裏面をご覧ください。

- 開館時間 9:00～16:30 (10/1～2/19)
- 観覧料 (※10月31日まで) 大人200円 小中学生100円
満70歳以上100円
(※11月1日から) 大人400円 小中学生200円
満70歳以上200円
- アクセス JR水戸駅北口から徒歩約8分
常磐自動車道水戸ICから約30分

※弘道館駐車場(13台)が満車の場合には茨城県三の丸庁舎駐車場をご利用ください。その際は必ず駐車券を弘道館料金所窓口にご提示ください。



10/1(火)

10/2(水)

藤田東湖書「麗澤」^{れいたく} 特別公開



藤田東湖書「麗澤」

「麗澤（れいたく）」は、安政2年(1855)10月2日に安政の大地震で圧死した藤田東湖が、前日の10月1日に訪ねた芳野金陵宅で、酒宴の際に贈った書と伝えられています。麗澤という言葉は、「友人同士がお互い助け合いながら学ぶこと」という意味があり、東湖と金陵の絆の深さがうかがえる貴重な資料です。

東湖書「麗澤」は、平成28年5月に弘道館に寄贈され、ゆかりの日に特別公開をしています。

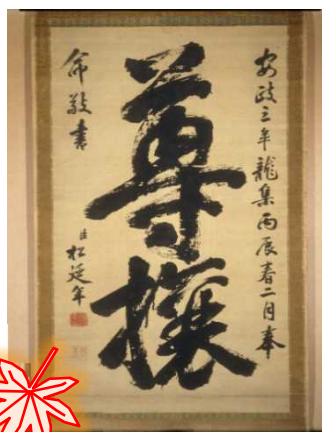


10/24(木)~
10/26(土)

弘道館所蔵書籍の曝書^{ばくしょ}・「尊攘」^{そんじょう} 真筆特別公開

曝書(ばくしょ)とは、書籍を湿度の少ない晴れの日に出干しする保存作業のことです。弘道館では、明治期に曝書を行っていたという記録があり、藩校当時にも行われていたと考えられます。10月24日から26日まで、弘道館で所蔵している藩校当時の教科書や「大日本史」などの書籍の曝書を行います。

※雨天の場合は展示のみで曝書作業は行いません。



この「尊攘(そんじょう)」の書は、安政3年(1856)2月に徳川斉昭の命により、藩医松延年が染筆したものです。

平成10年(1998)に放映されたNHK大河ドラマ『徳川慶喜』の撮影に合わせて、「尊攘」の書の複製が作製され、真筆は保管されていました。今回は、弘道館では約20年ぶりの「尊攘」真筆の公開となります。

真筆の筆づかいをご覧いただける貴重な機会です！



11/1(金)

孔子廟^{こうしびょう} 及び 釈奠^{せきてん} 関係資料特別公開



釈奠(せきてん)とは、孔子など儒教の先師を祀る儀式のことです。藩校当時、弘道館では春と秋の年2回釈奠が行われていました。今回は、昭和45年11月1日に孔子廟復元記念の釈奠が行われたことに合わせ、孔子廟及び釈奠関係資料を特別公開します。

通常は非公開の孔子廟内部を、この機会にぜひご覧下さい。